

国別技能評価システムの概要
(技能評価システム移転促進事業)更新日：令和 8 年 9 月 30 日
株式会社 J T B

国名	ベトナム
所管政府機関	Ministry of Home Affairs (MOHA), 内務省
技能評価制度	2025 年 3 月、ベトナム政府の省庁再編により労働・傷病兵・社会問題省 (MOLISA) は、内務省及び教育訓練省 (MOET) に編入された。旧職業教育訓練総局 (DVET) は、教育訓練省職業継続教育訓練局 (DVCET) に改編された。更に 2026 年 4 月に発令された政府政令第 138 号により、内務省が技能評価を所管することとなった。これにより学校教育は教育訓練省、職業訓練は内務省がそれぞれ所管することとなった。同様に国家職業技能標準 (National Occupational Skills Standard: NOSS) の開発・評価・発行も内務省が所掌することとなったが、NOSS は今後修正を加えられることとなる予定である。 NOSS はコンピテンシー方式であり、国家技能検定は NOSS を構成しているユニットごとに職場での仕事を通して、ユニット内容の達成度を評価して合否を判断するのが一般的であるが、ベトナムでは実施することが難しく、学科試験と実技(作業)試験による総合技能評価方式で国家技能検定を実施している。2021 年 8 月現在、199 職種の NOSS が開発されている。これに基づき、職種ごとの技能検定試験基準や等級等が設定されている。 現在の国家技能検定は、「雇用法(2015 年)」、「国家技能証明書の発給・管理に関する規則(2015 年)」、「国家技能評価基準の設定・審査及び公布に関する規則(2015 年)」に基づいて実施されている。 2011 年に鉱山掘削技術の国家技能検定がベトナムで初めて実施され、同年 12 月までに、メカトロニクス、グラフィックデザイン、鉱山建設技術、鉱山電気技術が実施された。2022 年 8 月現在、溶接、工業電気、工業電子、自動車技術、CNC 金属加工、旋盤作業、フライス盤作業等 61 職種に拡大している。
実施体制	【技能検定】 DVET が国営企業や職業訓練校を技能評価センターとして認定し、認定された技能評価センターが国家技能検定を実施している。 52 の評価センターが認定され、2022 年 8 月現在、評価者は 1,734 人認定されている。 2024 年度は鉱山坑内電気技術、鉱山坑内掘削技術、鉱山坑内建設技術、情報技術（アプリケーション開発）等の国家技能検定が実施され、4,229 名が受検し、うち 3,811 名が合格した。 2011 年度より 2024 年までの累計で 97,742 名が受検し、84,772 名が合格している。 また 2025 年度は新法令の公布、省庁改編・所管省庁変更の影響で通常の状態での国家技能検定は実施されず、鉱山採掘関連の検定のみが実施された。その内訳は、鉱山坑内掘削技術 level-1 は受検者 1,153 名、合格者 1,103 名、鉱山坑内電気技術 level-1 は受検者 125 名、合格者 117 名、同 level-2 は受検者 458 名、合格者 434 名(合計で 583 名が受検し、551 名が合格)、鉱山坑内建設技術 level-1 は受検者 126 名、合格者 103 名である。上記 3 職種で合計 1,862 名が受検し、1,757 名が合格となっている。 (2025 年度は上記の通り、実施職種は限られているが、2025 年度までの累計は受検者 99,604 名、合格者 86,529 名となっている)

SESPP 支援職種	【技能検定】 旋盤作業 2 級・3 級、フライス盤作業 3 級、情報配線施工 2 級・3 級、機械検査 2 級・3 級、シーケンス制御 2 級、機械製図 (CAD 作業) 3 級。なお、SESPP による成果として、2018 年に HIVC (ハノイ工業職業訓練短大) で旋盤作業、HaUI (ハノイ工業大学) でフライス盤作業のレベル 2 (日本の 3 級レベル) の国家技能検定が実施された。 2015 年度、2016 年度に、フライス盤作業 3 級学科試験問題集 (真偽法、250 問収録)、旋盤作業 3 級学科試験問題集 (真偽法、290 問収録) を作成し、その使い方を説明して DVET に提供。 2018 年度には、旋盤作業 2 級学科試験問題集 (真偽法、140 問収録)、フライス盤作業 2 級学科試験問題集 (真偽法、80 問収録)、旋盤作業 2 級・フライス盤作業 2 級学科試験問題集 (四肢択一法、200 問収録) を作成して DVET へ提供。 2019 年度に機械検査 3 級学科試験問題集 (真偽法、225 問収録) を作成し、DVET に対してその使い方 (学科試験問題の編成方法) を説明して提供した。 2020 年度に機械検査 2 級学科試験問題集 (真偽法、151 問及び四肢択一法、128 問収録) を作成し、DVET へ提供。 2023 年度は業界検定として、南部ホーチミンで支援を行い、機械検査 3 級では新たに 4 名の認定評価者が誕生した。更に 2025 年度は、機械検査 2 級で 8 名の認定評価者が誕生した。 2026 年度は機械製図 CAD 作業 3 級の技能評価トライアル及びシーケンス制御 2 級の技能評価トライアル/技能評価者認定を行う予定である。
今後の課題	・ベトナムにおける技能検定は、省庁改編、法令の改正等で現在実施が滞っている状態である。鉦山採掘関連以外の職種の早期再開が求められる。 ・海外 ODA を受ける手続きの遅れから業界検定として本事業の研修を実施しており、政府間合意の上での事業推進が必要である。 ・SESPP 支援職種の国家検定化 (機械検査、機械製図 (CAD 作業)、シーケンス制御)。